

海外渡航費支援 財団一覧 ※直近2～3年で申請されている財団を一覧にしております。

令和5年1月16日付

No.	財団名	対象課程			支給額	募集時期	援助の対象	備考	財団HP
		修士	博士	備考					
1	公益財団法人電気通信普及財団	×	○ (後期課程)		11万円～29万円 (渡航先によって上限あり)	2か月に1度 4月、6月、8月、10月、12月、2月の各1日までに、それぞれ翌月1日から6ヶ月先までに開催される学会への参加について申込み	情報通信に関する研究について発表する場合や海外における情報通信に関する国際機関が主催する会議での討議に参加する場合		<a href="https://www.taf.or.jp/">https://www.taf.or.jp/</a>
2	ライフサイエンス振興財団	○	○		20万円前後	通年 国際会議へ出発の3か月前までに申請書提出要	国内で開催されるライフサイエンスに関する研究に係る国際会議		<a href="https://www.lifesci-found.com/">https://www.lifesci-found.com/</a>
3	中谷医工計測技術振興財団	○	○	40歳以下	上限40万円	年4回程	医工計測および関連技術	同一講座から、同一の会議または研究会への参加は、最大2名まで	<a href="https://www.nakatani-foundation.jp/">https://www.nakatani-foundation.jp/</a>
4	公益財団法人 吉田科学技術財団			原則35歳未満	渡航費支援	年4回程	科学技術（化学分野）に関する研究 (例：物理化学・有機化学・無機化学・材料化学など)		<a href="https://yoshida-zaidan.or.jp/">https://yoshida-zaidan.or.jp/</a>
5	Kyushu University EU centre	○	○	35歳以下	5万円～20万円	年3回	EUに関する国際会議等での研究成果を発表する者への支援		<a href="http://eu.kyushu-u.ac.jp/indexjp.html">http://eu.kyushu-u.ac.jp/indexjp.html</a>
6	NEC C&C 財団	○	○		12万円～25万円	年2回（前期/後期）	C&C 技術分野（情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術、及びこれらの技術が融合する ICT 技術分野に加え、これらの技術を基盤として応用発展してきたデータサイエンス、人工知能(AI)、センシング、認識、ロボティクス、自動制御、情報セキュリティ、仮想現実など、例えばスマート社会を支える技術を含む)		<a href="https://www.candc.or.jp/index.html">https://www.candc.or.jp/index.html</a>
7	村田学術振興財団				5万円～30万円	3月頃に募集要項掲載予定	自然科学（エレクトロニクスを中心とする自然科学の研究） 人文・社会科学		<a href="https://corporate.murata.com/ia-ip/group/zaidan">https://corporate.murata.com/ia-ip/group/zaidan</a>
8	立石科学技術財団		○ (後期課程)		40万円以下	年2回（前期/後期）	エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究活動を行なう研究者の海外派遣、特に国際会議での論文発表		<a href="https://www.tateisi-forg/">https://www.tateisi-forg/</a>
9	東電記念財団	○	○	40歳以下	10万～20万 (渡航先によって上限あり)	年2回（前期/後期）	電気・エネルギー分野（これに関連する環境分野を含む）の産業・生活に関わる技術を向上させる明確な意図を持った調査・研究、成果発表、共同研究などのための海外渡航		<a href="https://www.tmf-zaidan.or.jp/">https://www.tmf-zaidan.or.jp/</a>
11	情報科学国際交流財団	○	○		8万円～25万円 (渡航先によって上限あり)	年1回 参考：2022年度の募集締め切りは9月末	情報科学に関する研究者の国際的研究交流	既に参加/終了した会議も対象	<a href="http://www.iisf.or.jp/">http://www.iisf.or.jp/</a>
12	電気電子情報学術振興財団	○	○	30歳以下	上限15万円	年1回 例年募集締め切りは10月末	電気、電子、情報に関する優れた学術研究に対する助成事業の一環として、上記分野の研究発表を外国で開催される国際研究集会		<a href="http://www.denkidenshi.or.jp/index.html">http://www.denkidenshi.or.jp/index.html</a>
13	原総合知的通信システム基金			日本在籍2年以上であれば国籍を問わない	25万円未満		(1) 人工知能関係、コンピュータ間通信関係等に関する研究発表 (2) マルチメディア通信関係等に関する研究発表 (3) 生体情報伝達システム技術（ライフサイエンス） (4) バイオとコンピュータサイエンスの境界領域 (5) ロボット関連情報システム分野（ロボティクス） (6) データサイエンス技術等に関する研究等に関連する研究発表	同一研究室からの申請は1名のみ	<a href="https://www.hara-rf.jp/">https://www.hara-rf.jp/</a>